President Message
頭取メッセージ

仙台銀行
取締役頭取　三井精一

仙台銀行は「宮城県民」のための地域金融機関

仙台銀行の設立には、「宮城県」が深くかかわっているとお聞きしましたが。

当行は昭和26年に設立しました。当時は戦後の経済混乱も終息しつつありましたが、宮城県の商工業界は深刻な資金難にあり、金融の円滑化が大きな課題となっていました。こうした中、当時の宮城県知事・佐々木家寿治氏の提唱により、宮城県が資本金の4割を出資して設立したのが当行の前身である「振興無尽株式会社」です。

設立にあたっては、宮城県のほかに、仙台・塩釜・石巻・古川（現 大崎）・気仙沼・白石の県内の地方自治体、商工会議所、地元経済界等から幅広い出資をいただきました。当時、都道府県が直接出資して金融機関を設立することはあまりなかったようです。

こうしたことからも分かるとおり、当行はまさに宮城県の皆さまによって設立された「県民銀行」なのです。

現在でも宮城県や仙台市、そして県内市町村の一部には株主になっていただいており、地方公共団体との結びつきが非常に強いことが当行の特徴です。

また、当行には営業店が71カ店ありますが、そのうち70カ店を宮城県に配置しており、名実ともに宮城県に特化した地域金融機関であると自負しております。

平成19年6月から宮城県各地の魅力を紹介する仙台銀行のテレビCMが放映されていますね。

このテレビCMは今年の10月から実施される「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」を応援するために当行が独自に制作したものです。

CM制作にあたっては、当行の若手職員が企画段階から参画し、「仙台銀行がある街～わたしたちのホームタウン～」と題して、宮城県各地の魅力を4編のCMに盛り込みました。

県内各地でCMを撮影しましたが、当行職員のほか、地域の皆さまにも快く出演していただきました。まさに地域の皆さまと作ったCMだと思います。

お陰さまでこのCMは多方面で好評を得ており、宮城県に密着していくという当行の企業姿勢を地域の皆さまに強くアピールできていると思います。当行ホームページでもCMを公開していますので、ぜひご覧いただければと思います。

中期経営計画「好品質計画」への取り組み

中期経営計画「好品質計画」に取り組まれていますが、「好品質計画」という言葉は、職員の皆さんだけでなくお客さまにも浸透していますね。

ありがとうございます。「好品質計画」という言葉には、地域のお客さまや株主さま、そして当行職員など、当行と関わりを持つさまざまな方々に、今まで以上に当行へ愛着を持っていただき、好きになっていただける銀行を目指そうという気持ちを込めています。

一方で、これは銀行の「品質」である私たち役職員一人ひとりの対応力を高めていこうという「意欲」を表す言葉でもあります。

「好品質計画」のサービスマークは、CMやポスター、パンフレット、名刺・封筒など、当行が提供するさまざまな商品や

仙台銀行
取締役頭取 三井 精一

サービスで使用しており、私たちの考え方をより理解していただけるよう努めています。また、この「好品質計画」の言葉にふさわしい金融サービスをさらに充実させていくことが私たちの課題であります。

「好品質計画」では、宮城県に特化した地域金融機関としての「強み」を活かすという目標を掲げていますね。

当行の強みは、「宮城県内70カ店の店舗ネットワークと情報力」と「フェイス・トゥ・フェイスで親しみやすい」という点にあると考えています。宮城県には政令指定都市の仙台市を中心に多くの金融機関が進出していますが、県内でこの2つの要素を満たすことのできる金融機関は当行のみであると自負しています。

この強みを最大限に利用して、「仙台銀行グループにしかできないサービス」を展開し、地域のお客さまが好意的に選んでくれる銀行になりたいと考えています。こうした考え方のもと、「営業体制再構築プロジェクト」、「内部管理態勢強化プロジェクト」、「企業風土改革プロジェクト」の3つのプロジェクトに取り組んでいます。

「営業体制再構築プロジェクト」への取り組み状況について教えてください。

お客さまのニーズは、「金利の有利さや手続きの簡単さを求めるもの」と、「私たちとじっくり相談して資金運用や事業運営などさまざまな問題を解決したいもの」に大別できると思います。私たちは、こうしたお客さまのニーズに応えるため、さまざまなサービス開発や店舗設備の見直しなどに取り組んでいます。

「金利の有利さや手続きの簡単さ」については、ご退職

者さま向けに特別金利定期預金を発売したほか、お客さまが来店しなくても住宅ローンの事前審査を受けられるサービスなどを開始しました。また、ホームページで個人向けのローンの仮審査申込ができるようにしています。

「相談機能へのニーズ」については、平成19年11月に新築した古川支店において、個室タイプの相談窓口を設けるなど、お客さまがゆったりとご相談をしていただくためのスペースを新設しました。また、融資部企業支援室が営業店と連携しながら、取引先企業の経営改善にも力を入れております。経営改善はお取引先と対話を続けながら、地道に取り組まなければなりません。時間もかかります。しかし、こうした活動こそが地域金融機関である当行の重要な役割であると考えています。

「内部管理態勢強化プロジェクト」の取り組み状況はいかがですか。

当行では、法令等遵守を経営の最重要課題に位置づけて、役職員が一体となって内部管理態勢の強化に取り組んでいます。

例えば、お客さまへの商品説明態勢の徹底、営業店への事務指導・監査機能の強化などは特に重視して継続的に取り組んでいます。

平成19年9月に「金融商品取引法」が施行されました。この法令では、投資信託や個人年金保険など元本割れ等のリスクがある商品について、お客さまにその商品のリスク等を十分にご理解・ご納得いただいたうえでお取引いただくように、金融商品の販売や勧誘等に関するルールを定めています。当行では、この新しいルールに則った販売や勧誘等を行うために、行内体制を整備するとともに、職員に対する研修・実践指導に取り組んでいます。

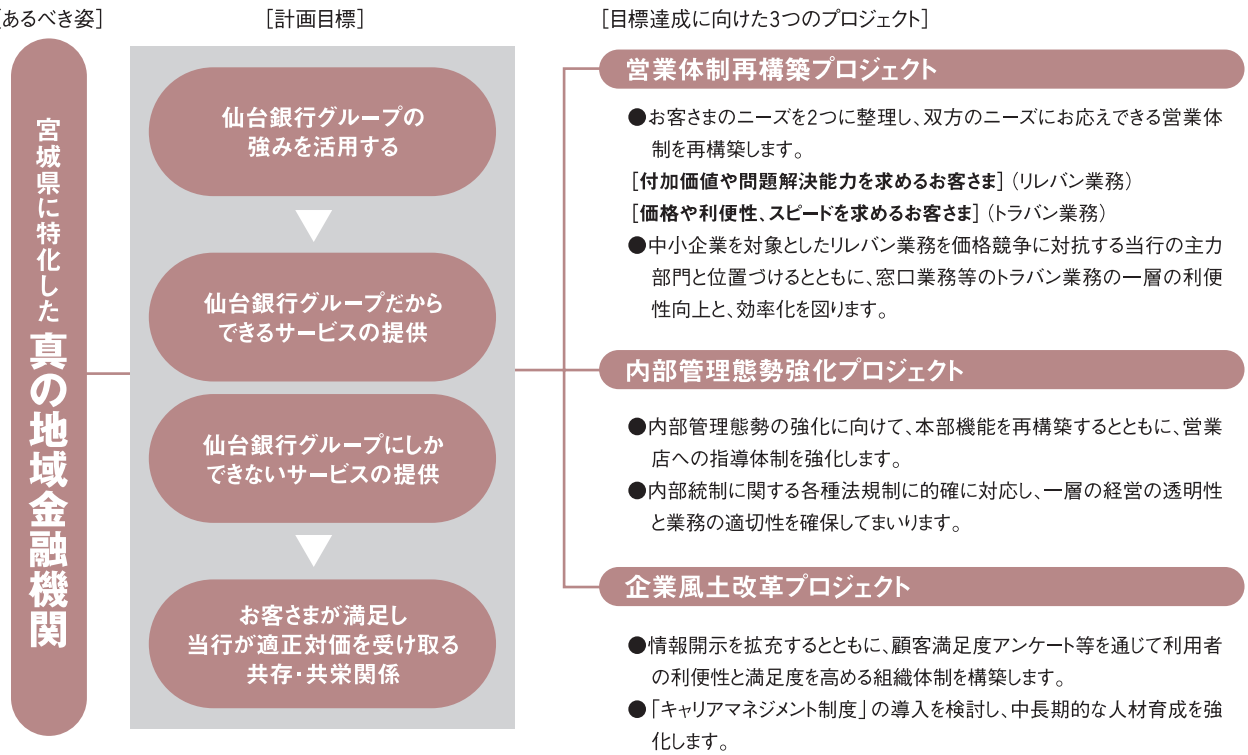
また、高度化・複雑化するリスク管理等に対しても、適切な体制を構築し、業務プロセスの明確化・適切化に取り組んでいます。

こうした取り組みは、銀行業務の礎である「お客さまからの信頼」を得ることにつながり、また、当行の行是である「信を万事の本と為す」にも通ずるものと考えています。

「企業風土改革プロジェクト」の取り組み状況はいかがですか。

このプロジェクトでは、「お客さま第一主義」というサービス業の原点に立ち返り、お客さまの視点に立った情報開示を進めるとともに、高度化・広範化する金融サービスに対応

「好品質計画」の構成図



できる人材の確保・育成に取り組んでいます。

情報開示では、平成19年3月に当行ホームページを全面リニューアルし、今まで以上にさまざまな金融情報や当行の経営情報等をタイムリーに発信しています。また、子供たちの金融知識を高めるため、各営業店において小中学生の「職場見学」を積極的に受入れています。模擬紙幣による「1億円の重さ体験」や「お札の数え方体験」など、銀行の仕事により興味をもってもらえるような体験カリキュラムを用意しています。

人事制度については、中途採用を継続し、多様な人材の確保に努めています。また、平成19年10月からは非正規社員の活躍の場を広げるため「パートナー社員制度」を導入しました。この制度では、必要資格を取得し所属長の推薦を得ることなどにより、非正規社員を正社員へ登用する道を設けました。また、結婚や出産などで過去10年以内に当行を退職した元行員を再雇用するなど、人材の活用と能力開発に積極的に取り組んでいます。

これからの仙台銀行

今後、仙台銀行は宮城県に対して、どのような役割を担うべきであるとお考えですか。

現在、宮城県の経済は緩やかな回復基調にあります。昨年にはトヨタ自動車関連工場の宮城県進出が決定し、関連産業の振興などさまざまな経済波及効果も期待されています。

しかしながら、一方では景気回復の足取りに地域間格差や業種間格差があることも事実であり、事業所数の減少が続くなど、さまざまな課題を抱えています。金融業界では、ゆうちょ銀行の誕生やメガバンク・他県地銀等の進出などにより、競争が厳しさを増しています。

当行は「宮城県の中小企業金融の円滑化」を目的に誕生した地域金融機関です。この目的は時代や環境が変わろうとも不変のテーマであり、当行が地域社会へ果たすべき使命であると考えています。常にお客さまを中心に経営を進め、地域に役立つ金融機関でありつづけることが当行の果たすべき役割であると考えています。

現在のお取引先さまや、株主の皆さまとの交流についてお聞かせください。

当行には、お取引先の事業主の方々や株主の皆さまで組織している「千成会」があります。この「千成会」は各営業店が事務局となって運営しており、宮城県内各地で開催される千成会の行事には私をはじめとした役職員が出席し、当行の経営方針や業績等について説明をしております。また、会員の皆さまから当行に対する忌憚（きたん）のない意見を直接お聞きできる貴重な機会でもあります。会員の皆さまから寄せられる声は、私たち役職員にとって何よりも大切なものです。これからも積極的に事業主の方々や株主の皆さまの声をお聞きしていきたいと思っております。

最後に、地域の皆さまへのメッセージをお願いします。

仙台銀行は宮城県に特化した地域金融機関として、今後も皆さまの信頼とご期待にお応えできるよう精一杯努力してまいります。一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

President Message
頭取メッセージ